

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

厚労省は 3 年前より産業保健推進センター・メンタルヘルス対策支援センターの 2 事業と労働局傘下の地域産業保健センター事業を一元化させた上で、その 3 事業全てを（独）労働者健康安全機構に移譲し、産業保健総合支援センターと改称してスタートさせ、産業保健事業のワンストップサービスを図っていますが、徐々に軌道に乗ってきたと実感しております。

以降、3 年間、現在、岡山県医師会長を務めている小職が第 1 代岡山産業保健総合支援センター所長を拝命し、任務を続けております。又、従来 of 県内 7 地域産業保健センター事業についても緊密な連携の下、当センターが統括しております。

又、岡山労働局より平成 29 年度より島村 明副所長が出向勤務に当たっており、更に地域産業保健センター事業が移譲された為、岡山県医師会から松山正春副会長が運営主幹として任務に当たっております。この他、労働衛生専門職なる実務者も 2 名加わり、各々が主として、「ストレスチェック制度」関連事業と「仕事と治療の両立支援」関連事業を分担して精力的に活動しております。他に事務主任と臨時職員 3 名を加え総勢 9 名で運営しております。

平成 29 年度のセンター諸事業の推進に当たりましては例年通り活力ある運営が出来ていると自負しております。又、昨年 9 月末開催された産業保健活動推進全国会議において小職が「新しい産業保健事業への取り組みについて」と題して 15 分間の報告をしました。

本年も地域におけます更なる産業保健の推進・活性化に向けて、岡山労働局・岡山県医師会並びに関係諸団体のご支援を賜りながら職員一同鋭意努力していく所存です。

何卒、本年も昨年同様のご支援ご協力をお願い致します。皆様方のご健勝とご活躍を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上

平成 30 年 1 月 岡山産業保健総合支援センター 所長 石川 紘